

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム暖楽家

目標達成計画

作成日: 令和 5年 3月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	スタッフ・フロアリーダーとも法人の運営方針の理解していない。	スタッフ・フロアリーダーともに法人の運営方針しっかり把握し日々の利用者のケアが出来るようにする。	毎月のカンファレンスで運営方針の確認の時間を作り説明する。また利用者の事例を使いながら運営方針の意味を伝えていく。	12ヶ月
2	27	今後タブレット化に移行していくためスタッフ全員がタブレットを使い情報の共有や問題点の把握がしっかりできるか？	スタッフ全員がタブレットを使い情報の共有や問題点をしっかり把握できるようになる。	タブレットの使用の講習会を開く。わからないことがあればその都度教えていく。	12ヶ月
3	2	コロナ禍の為、地域との交流が減少し限られた人との交流のみ。事業所周辺地域にはまだ、認知度が低いと思われる。	感染対策をしながら、地域との交流を持ち、地域に必要とされる事業所になる。	町内会での行われている催しなど、地域行事等に参加し地域との関わりを深めていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。